

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 —麻生鳥のさえざり公園—

第26号 2009年9月30日発行 発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者；間野 洋 編集者；木村 信夫

子供たちに森と自然の豊かさを！ 秋の催しのご案内 副会長 長澤

今年は、春から夏にかけて天候不順が続いたため、作業が若干遅れ気味ですが、森も畑も実りの季節がやってきました。

この秋、麻生区市民健康の森では盛り沢山の催しが行なわれます。とくに、私たち森の会は、地域の子供たちと交流を深め、次世代に自然の豊かさを伝えていく活動を重視しています。森の恵みを利用して、子供たちの感性を磨き、豊かな心を育むために森での学習、各種イベントを開催します。

そのあらましと開催日をご紹介します、多くの皆様のご参加をお待ち致します（次頁の間野会長のイベントについての方針をあわせてご覧ください）。

● 西生田小学校3年生「そばと麦の体験学習」 10月1日（木）、2日（火）午前（サポーター：会員中心に各日12人）

<そばの学習> ①プロのそば打ち見学、②そば畑で収穫しそばの実の学習、③そば茶の試飲

そば打ち見学の後、森の畑でそばを鎌で刈取って実を砕き、そばの学習を行う。

<麦の学習> 校舎にて、①麦の種類（小麦・大麦・ビール麦）の学習、②大麦を煎って麦茶を作る、③麦茶の試飲

森の畑で収穫した各種の麦を活用し、ゲームを交えて麦についての学習を行う。

● 西生田小学校3年生「冬の森体験学習」 12月2日（水）午前（サポーター：12人）

<学習内容> ①冬の植物「種の旅立ち」

の観察、②冬の森を写生しよう、③ネイチャーゲーム

森を舞台に、種（実）の不思議やゲームを通して森の生物多様性を学習します。

● 西生田小学校5年生「森で環境体験学習」 12月14（月）15日（火）午前（サポーター：各日10人）

<学習内容> ①樹木の大切さと役割、当森の活動、②堆肥作り、③二酸化炭素について、樹木の二酸化炭素吸着量測定

森・緑が環境改善に有効であることを、実際の測定を通じて学習します。

● 麻生プレーパーク

10月17日（土）10:30～15:00

主催は「麻生プレーパークを創る会」。親子ともども森の自然を活かした遊びで1日を過ごします。

● 2009 植樹祭 & 収穫祭

今年のテーマ「歌でつなぐ 森の楽しみ」

11月15日（日）9:00～13:00

麻生区市民健康の森の最大のイベントで、森の植樹・観察と、秋の実りをおいしくいただく収穫・感謝祭。地域のお母さんたちの音楽サークルとともに歌で祝います。麻生区長も参加予定です。子供たち、ご家族、お友だち、みんなで楽しみましょう。

以上、いずれも安全にじゅうぶん留意して事故のないように実施したいと思います。体験学習のサポーターなど、皆様のご協力宜しくお願い致します。

■ 地域と交流するイベント ご紹介と今後

会長 間野 洋

前号でも述べた通り、当会の森作りも一段落し、今後はいかに整備、管理していくかの段階です。当会の基本理念の一つである地域コミュニティの構築は、種々のイベントを通して近隣の皆様との交流を図っています。

現時点では主催、共催、後援をあわせて六つのイベントを開催しています。各イベントの概要、経緯などを以下にご紹介します。

1. 植樹祭&収穫祭 多摩美みどりの会共催

森作りを始めた 2001 年より続く当会のメインイベントの一つです。開催のコンセプトは森の成長に合わせて変化しました。①森作りの期間(2001~2003)、②樹木の成長の確認(2004~2005)、③森で楽しむ(2006~2008)です。植樹については初年度より7年間で枯れた木も相当数有りましたが、約300本を子供たちと植えています。収穫祭では当森の畑で収穫したサツマイモ、サトイモ、大麦、小麦など皆さんに賞味いただき、一部はお土産として参加者にお分けしています。

森で楽しむでは、子供たちと木の葉のスタンプ、ススキのお面作り、どんぐりのコマや飾り、枝でトンボ細工など楽しみました。

またこの時期、多摩美の森とその周辺の樹木、草花の写真集を、テーマごとに4集発行しました。なかなか秀逸な作品です。

2. 小学生の総合学習への協力

みどりの会との共同で 2001 年より続いている重要な活動です。最初の2年間は金程小5、6年生のどんぐり苗の植え付け、カブトムシのお宿作り、小鳥の巣箱掛けなどをしました。2003年は3校で、金程小5年生は麦の学習、西生田小3年生は麦とそばの学習、千代ヶ丘小5年生のあるグループからは身の回りの環境問題調査のため当森に対しての質問状に回答、発表会を参観しました。

2004年からは西生田小への協力が絞られて現在に至っています。3年生は麦とそばの学習、冬の森の観察、5年生は環境と緑をテーマに、樹木の幹周りを測って二酸化炭素の吸収量を計算し、その木が年間何人分の酸素を排出しているかを考え、また落ち葉を集めて堆肥作りを行っています。

3. 竹炭焼き

2002年より始めたドラム缶窯を使っでの炭焼きです。最初の5年は出来不出来が激しく試行錯誤の末、一昨年より火力保持のため温度管理を実施し上々の出来となってきました。収穫祭で参加者に安価で提供しています。

4. 動植物観察会

2001年より始め、会員、参加者の勉強会となっています。2年間は会員の萩原哲氏の指導で当森の環境調査として、年間通じて植生、野鳥、昆虫の観察が行われました。クモが糸を吐いて空に舞い上がるブルーニングが観察された事は特筆です(写真撮影もできた)。

2003年は樹木研究家の北澤清先生より、樹種の分布とビューポイント、森づくりのアドバイス等を受講しました。2004年からは自然観察指導員の高橋英先生にお世話になり、当森の四季の樹木や草花を観察し、生きものたちの営みの興味深いお話を伺っています。

5. 星の観察会

オーロラ天文台、渋谷星の会主催。若葉町、当会后援で2006年に始めました。多摩美の森は生田緑地、早野地区とともに市内で星がよく見えるベスト3です。今年は世界天文年(ガリレオが初めて手製の望遠鏡で星を観察して400年)で5回目を迎えました。その楽しみは右頁の小川さんの投稿文をご覧ください。

6. プレーパーク

「麻生プレーパークを創る会」主催、当会の協力で昨年より始まりました。子供たちが自由に遊びを創り飛び回るのは見ていて楽しいものです。子供たちが森と友だちになり感性豊かに育ってほしいと思い、今後とも協力を続けて行きたいと考えています。

7. 今後の課題

当会も森作りに始まって9年目を迎えました。この間、新入会員も少なく世代交代が進まず会員の高齢化が進んでいます。特にイベント1、2、3は準備にも時間がかかり、いかに効率よく地域の皆様との交流を図るか苦労しています。時間に余裕があり、また当ボランティア活動に賛同される方々の入会を心からお待ち申し上げます。

■畑の作物の生育状況と収穫の楽しみ 畑の管理分科会 中谷一郎

9月中旬の状況では、上の「小さな畠」にサトイモが大きく育ち青々とした葉っぱを茂らせています。今年は種芋のリフレッシュを計るため、新しいサトイモを100個買って植えました。そして、昨年ここで収穫・貯蔵した種芋150個と比較しています。その結果がどう出るか楽しみです。

またサツマイモ（ベニアズマ）200本も順調に成育しています。そばも白い花が咲き誇っています。下の「お楽しみの谷」にもそば畑があり、この畑も白い花が咲き誇っています。10月1日（木）、2日（金）の西生田小学校3年生の総合学習に利用します。



そばのお花畑の前で、奥はさつま芋・里芋

また上の畑と下の畑では、昨年の11月中旬に種播きした小麦・大麦・ビール麦は、6月下旬に収穫、刈取り、はざかけ（むぎの物干し乾燥）をしましたが、今年は天候不順で作業日には雨ばかりで収穫量が少なく、乾燥も遅れ気味です。小麦18kg、大麦5kg程度が良い所かと思われませんが、植樹祭&収穫祭には何とか利用出来ると思われれます。収穫祭では、毎年大人気の小麦粉も販売したいと思っています、来年はヒエやアワを植えてはとの話もあり、検討したいと思います。皆さんのいろいろなご意見、お待ちしております。

星と皆既日食で盛り上がる

オーロラ天文台 小川誠治

8月8日、麻生区市民健康の森を会場として、夏の星空を楽しむつどいを開催しました。このつどいは、オーロラ天文台と渋谷星の会が主催で行っているもので、昨年12月6日に続いて、今回が5回目となりました。

当日は雲が厚く、観測はあきらめかけていましたが、参加者のお子さんから「星が見えているよ」というご指摘があり、この星が赤く光るさそり座のアンタレスであることがわかりました。

星が見えない間、健康の森の管理棟をお借りして、7月22日に観測したばかりの皆既日食の話や写真、ビデオ上映を行いました。これは、NHK テレビが生中継した船と同じ船に乗って実際に写したもので、ほかにも上海で観測に成功した報告もあり、大いに盛り上がりました。参加者からは、「皆既日食の話が聞け、映像まで見られて感激した。ビデオを見ると、現場の感動がよく伝わった」などの感想がありました。質問もたくさんいただき、会場は熱気にあふれていました。

このつどいに全面的なご協力をいただいた、麻生多摩美の森の会・若葉町会の皆様、広報にご尽力を下さった多摩美地区各町会の皆様に心から御礼申し上げます。なお、次回は「天文台の大きな望遠鏡で見たい」との要望にお応えし、12月5日（土）日没後、オーロラ天文台（多摩美1-27-5）で行います。

余談ですが、渋谷星の会の名誉会長をしている千葉景子参議院議員が鳩山内閣の法務大臣に就任されました。千葉先生はアマチュア天文家として知られ、オーロラ天文台の観測会にも何度も見えていて、「7月22日の皆既日食を見に行けなくて残念」というほどです。



◆私の部屋◆ 黄河文明を訪ねて

勝田政吾

8月下旬の1週間、宋代の都開封を皮切りに中国の黄河中流に位置する河南・山西のいわゆる中原地域の史蹟めぐりをし、最後に黄河唯一の瀑布壺口を見物する旅行をしました。

この辺は観光ルートとして一般的でない地方ですが、歴史や文学上の名所旧跡の宝庫です。各都市には博物館があり、旧石器時代の発掘品はじめ BC3000 年クラスのものがあります。三门峡市は洛陽の北側の黄河沿いにダム建設でできた都市ですが、工事を進める程にたくさん遺跡が出てきて、小さな都市に博物館が2つもあります。有名な函谷関も見学しました。洛陽の龍門石窟は武則天の力が及んでいる関係で一般的に優美な仏像でした。関林廟も訪れましたが、整備され過ぎて門前町らしきものがなく残念でした。

さらに堯・舜などの伝説の地、臨汾市を経て壺口瀑布へ向かいました。黄河が急に狭まり 30m 位の落差を一気に落ちるのですが、川幅いっぱいの泥水が落ちて水面をたたき水しぶきをあげる様は壮観で迫力十分でした。



全般に感じることは、博物館や伝説・詩文による民族意識の高揚政策がとられる一方、早朝の体操や朝市で示される地方都市の人々の満ち溢れるエネルギーの迫力です。緑化に対しては、現在では農民にも十分理解されて、沿道の農地に 10m くらいに育ったポプラの林が延々と続いているのには感心しました。

何を見ても、この大国中国とはこれから上手に付き合っていかなければならないと、今更ながら強く感じました。

●今後の活動予定 副会長 中谷一郎

10月～11月は実りの秋、樹木が色づいて森はいちばん美しい季節ですが、昨今の天候不順の影響が心配です。1頁でも紹介したように、この時期は当会のメインイベントが目白押しで、活気づきます。ぜひ応援に来ていただき、いっしょに楽しんでください。

今後の活動予定は下記の通りです。なお、10月から活動日の作業時間は10時～12時となります。

- 10月1日(木), 2日(金) 西生田小3年生、総合学習
- 10月3日(土) 畑の整備、その他
- 10月14日(水) 麻生プレーパークの準備
- 10月17日(土) 麻生プレーパーク
- 10月18日(日) 広場の周辺整備、草刈り
- 10月28日(水) 植樹祭&収穫祭の準備
- 11月7日(土) サトイモ、サツマイモの収穫・保存
- 11月11日(水) 植樹祭&収穫祭の準備
- 11月14日(土) 同上
- 11月15日(日) 植樹祭&収穫祭(少雨開催)
- 11月25日(水) 冬の畑準備
- 11月28日(土) 秋の自然観察会 都心の回遊式築山泉水の名園「六義園」を訪ねます。
- 12月2日(水) 西生田小3年生、総合学習
- 12月5日(土) 麦の播種
- 12月14日(月), 15日(火) 西生田小5年生、環境体験学習
- 12月20日(日) 森の整備

★会員募集中—1度見学にお出てください。里山の楽しさを親子で味わってください。年会費1,000円。

★皆さんの投稿、感想をお寄せください。
問合せ、連絡先

間野 洋 044-966-7233

mano-h@jcom.home.ne.jp

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com